

とよさい

ご自由にお持ち
帰りください

vol.25
2020.4

■ 着任のご挨拶

新しく部署長になりました
皮膚科(形成外科領域)より

■ 無料低額診療事業

かんたん健康チェックのご案内

■ ドクターペンリレー

■ 部署紹介【リハビリテーション科】

■ 元気スタッフのWA!

■ 医療連携登録医のご紹介



「春爛漫」

(第9回豊浦フォトコンテスト応募作品)

病院理念

- 一、「救療済生」の精神に基づき、人々に愛をもって接します。
- 一、患者様本位の良質な医療の提供を実践します。
- 一、地域の医療・保健・福祉の礎となるよう努力します。
- 一、医療を通じて、生き生きのびのびとした豊かなまちづくりに貢献します。



社会福祉法人 恩賜財團 済生会支部
山口県済生会豊浦病院

〒759-6302

山口県下関市豊浦町大字小串10007番3

TEL 083-774-0511 FAX 083-774-2590

URL <http://www.toyoura-saiseikai.jp/>



着任のご挨拶



下関市豊浦地域ケアセンター 所長
豊浦病院 内科医師

さかたけんすけ
阪田健介先生

昭和31年生まれ。広島県出身。58年山口大学医学部卒業。済生会下関総合病院入職。61年日本心臓血管研究所付属榎原記念病院外科入職。63年済生会下関総合病院入職し令和2年3月31日に定年退職しました。この度、縁あって4月1日から豊浦地域ケアセンター所長を拝命しました。前職では心臓血管外科が専門でしたので、所長とは名ばかりの介護老人保健施設1年生です。職員の皆様に鍛えていただきながら1日も早くお役に立てるようになりたいと思っています。既に施設は最大限に近い働きをしていますが、時代の変化に対応し、利用者の皆様への一層のサービス向上と働き方の効率化による職員の負担軽減との両立を目指します。利用者の皆様も職員も共に施設の一員であり相互に生き生きと明るく楽しく過ごせる施設であり続けるよう努めて参ります。加えて、感染が急激に拡大しつつある新型コロナウイルスに対する感染対策の強化が急務です。

施設長の傍、豊浦病院で週2回火曜と木曜に外来診療をさせて頂くことになりました。外科医ですので診断能力は乏しいですが、心臓病、生活習慣病を中心に西洋薬に漢方薬を交えながら診療したいと思っています。

右も左もわからず、両施設の皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

新しく部署長になりました



シャルマ 直美

外来 看護師長

4月から外来勤務となりました。
患者様が安心して受診できる環境作りに努めていきたいと思います。



林 美代子

3階西病棟 看護師長

地域の皆様が安心して療養できる環境を提供できる病棟を目指します。
よろしくお願いします。

宜しくお願いします



皮膚科(形成外科領域)より

まぶたの疾患について

今回は当科で診療を行っている、まぶたの疾患について紹介させていただきます。



最近まぶたが下がってきて
物が見えにくい
という症状はありませんか？



そんな時は
眼瞼下垂が考えられます。

まぶたを持ち上げる筋肉の働きが悪くなっていること、まぶたの皮膚が垂れ下がってきていることなどが原因であることが多いです。加齢に伴うものや、ハードコンタクトレンズの長期間の使用が原因になることもあります。また、生まれつき眼瞼下垂があることもあります。他にはまつ毛が目に当たって痛い(逆さままつ毛)や、下まぶたが垂れ下がって左右差がある(眼瞼外反)、まぶたにできたイボが大きくなって気になる、などの状態に対しても診察させていただいております。

いずれも手術で治療できる可能性がありますので、気になる症状がある場合、一度ご相談いただければと思います。



無料低額診療事業

～医療費の支払いに困ったときは～

ご案内

無料低額診療事業とは？

病気やケガにより生計困難になる恐れのある方や経済的理由により適切な医療を受けることができない方に対し、医療費の負担を無料又は低額にすることで安心して治療を受けて頂くための事業です。

(注)適用は医療費のみで、院外薬局の薬代や保険適用外の予防接種、また入院時の食事代等は自己負担となります。



まずは、PFMセンター 医療ソーシャルワーカーへ相談ください！

※この事業は全ての病院で行っている事業ではありません。済生会病院をはじめとした一部の病院のみで行っています。

例えなどんな方が対象？

■年金生活で、外来受診時の検査代の負担が大きい。



■入院により、仕事を休職し、医療費の支払いの目処が立たない。



等々、様々な事情で医療費の支払いが困難、不安と感じられた場合、無料低額診療事業が適用される場合があります。

(収支の状況等伺いながら適否が決まります。)

かんたん 健康チェックのご案内

日頃からちょっと気になっている体のこと、簡単お手軽料金で検査を受けてみませんか？

検査の受け方

1 病院の受付で申込書を記入



2 ご希望の検査場所で検査を受ける



3 後日、検査結果をお送りします。

受付時間

月曜日～金曜日

11:00～16:00

検査項目

- | | | | |
|--------------|------|-------------------|--------|
| ①高血圧症が気になる方 | 500円 | ⑥血管年齢(動脈硬化)が気になる方 | 500円 |
| ②糖尿病が気になる方 | 500円 | ⑦心臓機能が気になる方 | 1,000円 |
| ③肝臓機能が気になる方 | 500円 | ⑧前立腺が気になる方 | 1,000円 |
| ④腎臓・痛風が気になる方 | 500円 | ⑨骨年齢が気になる方 | 1,000円 |
| ⑤貧血が気になる方 | 500円 | ⑩甲状腺機能が気になる方 | 1,500円 |

⑪おすすめセット (上記①+②+③+④+⑤)…通常2,500円⇒1,500円

①ご注意

この「かんたん健康チェック」は健康診断ではありません。生活習慣病に関連する検査の値です。
今後の健康管理のご参考にして下さい。



ドクターペンリレー

今回のテーマは…

“免疫と前髪”

内科 山崎 武伍 先生



高校野球を始めとし、あらゆるイベントを中止させる、新型コロナウイルスの猛威である。

全地球大体育大会である東京オリンピックの開催も危惧され、世界はパンデミック状態で、経済も混乱し、大不況の兆しあえある。対策として、江戸時代の鎖国政策を取らざるを得ない。

大会の為の木を多用した国立競技場、設計したのが隈研吾であり、彼の哲学は、自然との調和である。この新型コロナウイルス、AIDS、SARS、MERS、いずれも自然との境界を壊した結果である、と推測される。

50年以上昔、かつての国立病院時代の当院は、学生時代お世話になった事もあり、今でもその情景は脳裏に残っている。今は道路が貫通しているが、小高い丘があり、そこの松林に囲まれた日本家屋が一軒。その庭先は海に流れ込み、さざ波の寄る岩肌は見事なものであった。松林の中に結核病棟が連なり、海岸は透き通る海水に洗われ、正に白砂青松そのものであった。昔の結核治療は、この様な自然環境の中で免疫力を高めるのが主流であった。

これは新型コロナウイルスでも同様であろう。人込みに入る事もなく、五感を磨くのが最高の養生である。豪華クルージング客船は最悪である。町中の壁に囲まれた家と同じく、冷暖房完備の客室はウイルスの培養場もある。

人気の少ない田舎の大自然の中で、何を発想するかが人間の本来の姿である。これを司るのが、大脳の前頭葉であり、特にその前頭前野は、人間が人間である証なのである。そこが意志、思考、創造など、あらゆる高次精神機能を発揮する源泉である。この前頭葉のある所が、髪の生え際の、俗に云う、おでこである。昔より、髪は人のアンテナと云

われ、大事にされてきた。特に前髪は切る事もなく、オールバックで束ねられたのが日本髪である。

戦争は負けたが、かつての日本の女衆は気合が入っていた。束髪にし、鉢巻を締め、男共を送り出したのである。ギリシャでのオリンピック採火式及び聖火引き渡し式でのキリッとしたギリシャメダリストの髪型、前髪だらりの日本女子マラソンメダリストの差は較べ様もない。なでしこジャパンも同じで、髪型で戦う前に既に負けている。戦意がないと見られている。敵を威嚇する鷹の如き格好をしろと思う。前髪の持つ、可愛い、温かい、若いは不要である。

食物繊維を摂取する事により、腸内細菌叢のバランスを保つ事等全身管理は当たり前であるが、免疫機能を高めるのが脳神経を刺激することである。心して視る、聴く、嗅ぎ、味わいを行い、首から上の後頭部を除いた顔面、前頭部の皮膚の脳神経支配知覚部を刺激する事が、脳神経の活性を高め、脳内ホルモンの分泌を促進する。

今回の新型コロナウイルスに限らず、新たなウイルスが到来するのは必定であると思う。感染流行時期だけでなく、常日頃自然に接し、五感を磨き、免疫機能を鍛える事が肝要である。

これが、インフルエンザにも罹患したことのない人間の、経験則である。



**部
署
紹
介**

リハビリテーション科

1 どんな部署？

リハビリテーション科は、作業療法、理学療法、言語聴覚療法を三つの柱とし、それぞれ専門的な治療・訓練を実施しています。

発症・術後早期から積極的にリハビリテーションを実施し、多職種と連携を図りながら、早期離床、早期回復、そして日常生活動作の早期獲得を目指しています。また、当院地域連携室やケアマネジャーと連携をとりながら、退院後の生活まで考えた関わりをしています。



2 どんなメンバー？

作業療法士6名、理学療法士8名、言語聴覚士1名の計15名で構成しています。それぞれの国家資格だけではなく、認定作業療法士、認定理学療法士、呼吸療法認定士、認知症ケア専門士、公認障害者スポーツ指導員などの専門資格を有するスタッフも在籍しています。



3 目指すもの

超高齢社会のなか、当院の患者様も高齢の方が増えてきています。このため、自宅退院後安全で安心して生活できるよう、自宅退院に際し退院前訪問を実施しています。そこでは、住宅改修の提案や福祉用具の選定などを行うとともに、自宅での生活に必要な動作を確認しています。

また、退院前カンファレンスを実施し、ケアマネジヤーや福祉用具業者などと連携し、退院後の介護サービスの調整や安全な動作指導などを行っています。

今後もこれら退院前訪問、退院前カンファレンスを十分に行うとともに、スタッフ一人一人が目標をもってスキルアップし、より良いリハビリテーションが提供できるよう、努めて参ります。



日々の病院での業務に加え、出前講座（転倒予防など）や「豊浦コスモスマつり」への参加を通じ、地域の方々の健康教育にも力を入れています。



元気スタッフのWA!

「プライベートはチヌ釣り師」

経営管理課 事務職員
皆川 ゆかり



生まれてから現在に至るまで海の近くに住んでいた私。28歳にして本格的に釣りのプロを目指し、趣味の域を超える気持ちで、いわゆる高額な竿とリールを買いました。

まずは型から入る事に決め、見た目から察するに凄い腕前だと思わせる程のコンディションで、同級生師匠に誘われるがまま、おもむろに海へ立ちました。幼いころに経験した、釣り針のたくさんついたサビキを使ったアジ釣りくらいの経験しかない私でしたが、師匠に一本釣りのフカセ釣りを手取り足取り教えてもらいながら、みるみる上達?し、ようやく3年かけてチヌ釣り師となりました。魚の釣れない厳しい状況でも釣れるよう、遠征で県外に出て島を渡り歩いたりと特訓を重ねていきながら、始めた頃とは違う自分となり、たくさん釣れるようになりました。

それから、ご縁があつて広島を本拠地とする「黒鯛塾」に入塾。その塾



患者様の権利

当院では患者様の個性・人格を尊重し、病院の理念に基づいて良質な医療を提供し、患者様の権利を保障します。

- 一、ご自身にあった最良の医療を受けることができます。
- 一、病気・検査・治療については気兼ねなく、納得のいくまで説明を受けることができます。又、主治医とは別の医師の意見を聞くことができます。
- 一、十分な説明を求め、ご自身の治療法などをご自分で決めることができます。
- 一、個人情報の秘密は守られます。
- 一、ご自身の診療録(カルテ)の開示を求めるすることができます。

長は、世界を股にかけ、有名なチヌ釣りの大会で連覇を果たし、某有名メーカーのアドバイザーとしても活躍する釣り界では有名なお人。その塾長に「お前は、今まで出会った女性の中で3本の指に入る。」と言われ、これまで重ねてきた釣行の厳しさが報われたと思える程、嬉しい気持ちになりました。塾生は全国におり、各地方での大会に勝ち残って栄えある全国大会で優勝するなど、強豪が所属しております。私も仲間たちに負けないように、そして塾長のモットーである釣りの楽しさを分け合う事、分かち合う事を忘れず、これからも楽しい釣りをしていきたいと思います。

プロになれるまで頑張るぞ!



教室案内

興味のある方は
お気軽に問い合わせ下さい。
TEL : 083-774-0511(代)

■糖尿病教室 (あなたの食事は大丈夫??)
5月 12日(火) 13:00 ~ 14:30

■安産教室

毎月第4木曜日 13:00 ~
(奇数月:20週前後の方、偶数月:32週前後の方)

医師や助産師、看護師、栄養士が分かりやすく病気や予防についてお話をさせていただきます。どうぞお気軽にご参加下さい。

基本方針

- 一、患者様と一緒に考え、一緒に病と闘う、心のこもった納得のいく医療を心がけます。
- 一、明るい職場から生まれる、温かく思いやりに満ちた心で患者様に接します。
- 一、常に知識・技術向上のための研鑽を積み、質の高い医療を提供します。
- 一、地域社会のニーズに応え、住民の心身の健康増進に努めます。
- 一、健全な運営と療養環境の充実を図り、地域社会から信頼される病院を目指します。



医療連携登録医のご紹介



はまさきクリニック



院長／濱崎 達憲

ごあいさつ

「ゆっくり、じっくり、しっかりと、そしてにっこり」
時間の許す限り「ゆっくり」患者さんのお話を聞かせていただくな。
「じっくり」診断し、「しっかりと」治療する。
そして患者さんに「にっこり」と満足して帰っていただくことが
われわれスタッフ一同の願いです。



【診療内容】

内科／消化器内科／放射線科／麻酔科／外科／リハビリテーション科
下関市 胃癌・大腸癌・前立腺癌検診・特定健診受諾
船員保険会SENPOS指定施設・産業医
ホームページ <http://www.hamasaki-clinic.com>



【診療時間】

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30～12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後の部 14:00～18:00	○	○	—	○	○	—	—

休診日：水曜・土曜(午後)・日曜・祝日

〒759-6311 下関市豊浦町大字吉永無田1720番地1号
TEL:083-775-1192 FAX:083-775-1193
(イクリニッキ)

「地域医療連携登録医」の一覧

★印が今回のご紹介の登録医

	医療機関名	電話番号		医療機関名	電話番号
豊浦町	しんむら医院	083-774-3535	菊川町	青柳内科医院	083-287-0563
	永山医院	083-774-3567		あめやまクリニック	083-288-1000
	藤本医院	083-772-3333		江本外科胃腸科医院	083-287-1222
	ふじかわクリニック	083-774-2224		なごみクリニック	083-288-0307
	二武整形・リウマチクリニック	083-772-0835	豊田町	小田医院	083-766-0109
	★はまさきクリニック	083-775-1192		千葉クリニック	083-766-0501
	じょうのクリニック	083-776-5151		川中豊町	川田じゅんこクリニック
	重本内科	083-774-4353			083-254-3520
	重本病院	083-772-0014			
豊北町	きぬがわ眼科	083-227-3445			
	藤井クリニック	083-782-0566			
	たきべ診療所	083-782-0032			
	和田医院	083-788-0001			
	下関市立角島診療所	083-786-0735			
	木本クリニック	083-786-2626			
	豊北病院	083-785-0222			



山口県済生会豊浦病院 外来診療案内

令和2年4月1日現在

診療科	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	備考
内科	高橋徹郎	弘津喜史	高橋徹郎	弘津喜史	弘津喜史	
	橋本興 (療養内科)	川田泰伸	橋本興 (療養内科)	高橋徹郎	川田泰伸	
	長澤俊明 (療養内科)	阪田健介	長澤俊明 (療養内科)	長澤俊明 (療養内科)		
	千原龍夫 (健診ドック)	千原龍夫 (健診ドック)	千原龍夫 (健診ドック)	阪田健介	千原龍夫 (健診ドック)	
		山崎武伍		山崎武伍	山崎武伍	
(専門外来)			大下理史 (消化器内科)	松永仁恵 (内分泌・糖尿病)		
神経内科				清水文崇		
心療内科			中田信浩		野村道次	
小児科	古澤陽法 (第1・3・5) 中司謙二 (第2・4)	中司謙二	藤原万裕	中司謙二	時高留依	
(専門外来)	小児神経 星出まどか (第1・第3) 13:00～予約制 予防接種 14:00～15:00	乳幼児健診 13:45～15:00 予防接種 14:00～15:00	慢性疾患・ アレルギー 14:30～16:30 予防接種 15:00～16:00		小児腎臓 橘高節明 (第4) 14:00～予約制	
外科					中邑光夫	
整形外科	午前	橋口彰	橋口彰 ～11:00	山部喬将	橋口彰	岩永隆太
脳神経外科		長次良雄	長次良雄	長次良雄(第2)	長次良雄	
皮膚科	午前			沖田朋子	八木献 (形成外科領域)	
泌尿器科		上領頬啓 小松宏卓	小松宏卓	上領頬啓 小松宏卓	安井平造	松本祐一
産婦人科	午前	岡田理	岡田理	藤村大志	杉野法広 岡田理	高崎彰久
	午後	岡田理	産後検診	手術日	岡田理	高崎彰久
リハビリテーション科					長次良雄 11:00～(第2)	橋口彰 9:00～
耳鼻いんこう科	午前	沖中洋介				廣瀬敬信
眼科	午後	石村良嗣		布佳久		完全 予約制

*休診等で診療をお受けできない場合もございますので、ご了承下さい。

〈受付時間〉 月曜日～金曜日 8時30分～11時30分 再診は終日予約制(小児科を除く)

〈診療時間〉 8時30分～17時00分

予約の変更は月～金曜日11時～13時に各科外来までご連絡下さい ☎ 083-774-0511

健康出前講座募集

講座開催日

原則、月～金曜日の午後～夕方の概ね1時間

*特別の希望日時がある場合は御相談ください

開催会場

会場は、申込者の方で手配をお願いします
(会場は下関市内に限らせて頂きます)

参加人数

参加人数は10名以上からお願いします

申込方法

希望日の2ヶ月前までに地域医療支援(PFM)センターに御連絡下さい
※学校関係で行っている性教育関連の講座も地域医療支援(PFM)
センターでお受けしています

講座申し込み・お問い合わせ先

◆地域医療支援(PFM)センター

地域病診連携担当

TEL : 083-774-0511(代)

FAX : 083-775-4149

その他、不明な点がありましたら
御連絡下さい